

問1 空海が開いた高野山の金剛峯寺が総本山である、平安時代に広まった仏教の宗派を何という？

1. 真言宗 2. 浄土宗 3. 法相宗 4. 天台宗

問2 794年に山背国へ平安京を遷都し、奈良時代の政治を立て直そうとした天皇は誰？

1. 嵯峨天皇 2. 光仁天皇 3. 桓武天皇 4. 聖武天皇

問3 平安時代後期に院政を最初に始めた上皇は誰？

1. 鳥羽上皇 2. 後白河上皇 3. 後鳥羽上皇 4. 白河上皇

問4 桓武天皇から命を受け、蝦夷を服属させるために派遣された武将は誰？

1. 源義家 2. 坂上田村麻呂 3. 平将門 4. 藤原純友

問5 空海が高野山に建立した、真言宗の総本山として知られる寺院は何？

1. 東大寺 2. 法隆寺 3. 金剛峯寺 4. 延暦寺

問6 平安時代末期に厳島神社の社殿を整備した武士は誰？

1. 平清盛 2. 織田信長 3. 足利尊氏 4. 源頼朝

問7 平安時代末期、東北地方を拠点として独自の勢力を築いた一族を何という？

1. 平氏 2. 奥州藤原氏 3. 蘇我氏 4. 源氏

問8 平安時代、紀貫之に最初の勅撰和歌集の編纂を命じた天皇は誰？

1. 宇多天皇 2. 朱雀天皇 3. 一条天皇 4. 醍醐天皇

問9 1159年に平清盛と争い、平治の乱を起こした源氏の武士は誰？

1. 源義朝 2. 平清盛 3. 源頼朝 4. 木曾義仲

問10 平安時代中期に、地方の統治や徴税などの実務を一任された地方官を何という？

1. 郡司 2. 目代 3. 国司 4. 太宰帥

問11 天台宗において、あらゆる人が救われるという教えの中心となっている経典を何という？

1. 阿弥陀経 2. 大日経 3. 金剛経 4. 法華経

問12 平安時代後期に貴族の間で流行した、死後に阿弥陀如来の助けを借りて極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方を何という？

1. 禅宗 2. 浄土信仰 3. 密教 4. 儒教

問13 平安時代末期、朝廷による平定が進んだ東北地方で、独自の勢力を築き上げた一族を何という？

1. 奥州藤原氏 2. 藤原北家 3. 平氏 4. 蘇我氏

問14 上皇が権力を強めるため、自らの警護や武力行使のために雇った地方の武士団を何という？

1. 六波羅探題 2. 西面の武士 3. 北面の武士 4. 侍所

問15 平等院鳳凰堂などの建築に影響を与えた、阿弥陀仏にすぎる信仰を何という？

1. 末法思想 2. 浄土信仰 3. 密教 4. 神仏習合

答え合わせ・解説

問1	答え 1 真言宗	真言宗は、空海が唐から持ち帰った密教の教えに基づく宗派です。呪文や曼荼羅（まんだら）を用いて悟りを開くことを目指す点が大きな特徴です。高野山にある金剛峯寺は、現在も真言宗の総本山として広く知られており、当時の貴族たちからも厚い帰依を受けていました。
問2	答え 3 桓武天皇	桓武天皇はまず長岡京への遷都を試みますが失敗し、その後794年に山背国（現在の京都）へ平安京を遷都しました。これにより、旧来の仏教勢力との結びつきを断ち切り、新たな環境で朝廷の威信を取り戻そうとしました。
問3	答え 4 白河上皇	白河上皇は1086年に院政を開始しました。上皇は自分の屋敷である「院」に院庁という機関を設け、天皇に代わって国の重要事項を決定しました。これにより、有力な貴族ではなく上皇が政治の主導権を握るようになりました。
問4	答え 2 坂上田村麻呂	坂上田村麻呂は、桓武天皇により「征夷大將軍」に任命され、大規模な軍を率いて東北へ向かいました。彼は蝦夷の指導者であった阿弭流為らを降伏させ、朝廷の支配圏を現在の岩手県あたりまで拡大させました。
問5	答え 3 金剛峯寺	金剛峯寺は、高野山にある真言宗の拠点となる寺院です。空海は嵯峨天皇からこの土地を下賜され、修行道場を築きました。広大な敷地には多くの寺院が立ち並び、宗教都市としての役割も果たしました。金剛峯寺は、真言宗の教えを広める中心地として、また信者たちが祈りを捧げる聖地として長年大切にされてきました。
問6	答え 1 平清盛	清盛は日宋貿易を積極的に進め、経済的な力を高めました。航海の安全を祈願して、瀬戸内海の厳島神社を厚く信仰し、豪華な社殿を整備しました。平氏の権力は全盛を迎え、一族で朝廷の高位を独占するまでになりました。
問7	答え 2 奥州藤原氏	奥州藤原氏は、豊かな金の産出や馬の取引、大陸との貿易などを通じて莫大な富を築きました。この富を背景に、平泉の地に壮大な寺院群を建立し、仏教文化を花開かせました。
問8	答え 4 醍醐天皇	醍醐天皇は学問や芸術を尊重し、多くの文人を重用しました。905年、彼は紀貫之らに命じて、それまでの和歌を集めた日本初の勅撰和歌集『古今和歌集』を編纂させました。この事業は、日本の文学史において非常に重要な出来事です。
問9	答え 1 源義朝	1159年、義朝は藤原信頼と結託して挙兵しましたが、最終的に平清盛に敗北しました。この敗北により源氏の勢力は一時的に衰退し、息子の源頼朝らは伊豆などへ流されました。
問10	答え 3 国司	国司は地方の政治や徴税を一手に引き受ける地方官です。この職に就くことは、地方の富を吸収できるため、貴族たちにとって大変うまみのあるポストとされていました。
問11	答え 4 法華経	法華経は、天台宗が最も重視する經典で、「すべての人は平等に救われ、仏になることができる」という教えを説いています。最澄はこの經典に基づき、人々に正しい修行と理解を求めました。この包摂的な教えは、特定の僧侶だけでなく、多くの人々に仏教の門戸を開く役割を果たしました。
問12	答え 2 浄土信仰	浄土信仰は、阿弥陀仏を信じ、その名（南無阿弥陀仏）を唱えれば、死後に極楽浄土へ行けるという教えです。当時の貴族たちは、自分の館や寺院の建物に阿弥陀仏を安置し、豪華な飾りつけをすることで、現世に極楽浄土を再現しようとしていました。平等院鳳凰堂はその代表例です。
問13	答え 1 奥州藤原氏	奥州藤原氏は、藤原清衡から始まる4代にわたる一族で、平泉を中心に強大な経済力と軍事力を持ちました。金などの産出や対外貿易によって莫大な富を蓄え、中尊寺金色堂に代表される華やかな文化を築きました。
問14	答え 3 北面の武士	白河上皇が御所の北側に部屋を設けて警護させたことから「北面の武士」と呼ばれます。彼らは単なる警備員ではなく、実力行使の手段として上皇の信頼を受け、次第に政治的な発言力を持つようになりました。
問15	答え 2 浄土信仰	浄土信仰は、「南無阿弥陀仏」と唱えることで、死後に阿弥陀如来のいる極楽浄土へ生まれ変わることができるという教えです。貴族たちの間で広まり、平等院鳳凰堂のような豪華な阿弥陀堂が建立されるきっかけとなりました。